



松本市図書館だより

平成25年9月1日発行 第6号



編集・発行 松本市図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099

松本山雅FC 夏の推薦図書2013



松本市中央図書館では、松本山雅FCのホームタウンである塩尻市・山形村・安曇野市との合同企画として「松本山雅FC 夏の推薦図書2013」を行いました。選手の写真のパネルに、中高生へのおすすめ本とメッセージを添えて展示をしました。選手がおすすめする本とその理由をまとめましたので、図書館へ足を運ばなかった方や見逃してしまった方も、ぜひご覧ください！

白井裕人選手

『十五少年漂流記』

ジュール・ヴェルヌ著

友情の大切さを学びました。



飯田真輝選手

『ダブルキャスト』

高畑京一郎著

タイトル通りの内容。



玉林睦実選手

『超訳 ニーチェの言葉』

白取春彦著

色々な考え方をもてるようになる。



岩渕良太選手

『海辺のカフカ』上・下巻

村上春樹著

15歳の少年が旅に出て様々な不思議な出来事に遭遇する物語。主人公になりきって読み進めると最高にワクワクします。

楠瀬章仁選手

『自分を動かす言葉』

中澤佑二著

言葉には力があると実感したから。



中央図書館の1階ロビーでは、松本山雅の展示を行っています。ぜひコチラもご覧ください！



※選手のコメントはパネルに掲載された原文の通りです。

各館紹介

～空港図書館～

空港図書館は、やまびこドームや信州まつもと空港に最も隣接した場所にある施設です。今井市民プールの東側にあります。蔵書は、一般書 29,000 冊、児童書 17,000 冊です。「航空」に関連する図書コーナーを設けており、約 1,300 冊の図書が揃っています。航空の本に関することは、空港図書館にお問い合わせください。

児童コーナーには、大人も楽しめる絵本を揃えました。幼児から大人まで活用できるコーナーになっています。朗読やよみかかせにご利用ください。

また、空港図書館一帯は、かつて旧陸軍飛行場があったことからこの夏、企画展を開催しました。戦時中、今井・神林・笹賀地区の方々の多大な協力と妥協のうえに完成した施設であったことを、後世に語り継ぐため開催したものです。これからも、地元の郷土史に携わる図書館づくりを目指します。

公園でスポーツなどを楽しんだ後は、ぜひ空港図書館にお立ち寄りください。



春の松本市空港図書館

今月のおすすめ本



『世界と日本のビール図鑑』 世界のビール博物館／監修 主婦の友社

【588セ 蔵館：中央・南部・本郷】

ビール好きにはたまらない！日本のビールはもちろん、ビール大国・ドイツなど世界各地のビールあわせて145種が、解説とともに紹介されています。各地域のビールの特徴やビールに合うおつまみ、おすすめの飲み方なども載っていて、暑い季節にぴったりの1冊です。

『クニ子おばばと山の暮らし』 椎葉クニ子著 WAVE出版

【382シ 所蔵館：本郷・空港・梓川】

山を背景にニコリ笑う「クニ子おばば」の表紙が印象的なこの本。秘境の山奥の村で、89歳の元気なクニ子おばばは伝統の焼畑農法を守りたくましく生きてきました。自然や神様に感謝し自給自足を心がけるおばばの言葉には、暮らしの知恵や日本人の大切な心がつまっています。読んで元気になれる1冊です。



予約本ベスト5

平成25年7月15日～

平成25年8月15日受付

一般書

- 1位 『ホテルローヤル』(Hotel Royal)
桜木 紫乃／著、集英社
- 2位 『泣き童子』(三島屋変調百物語参之続)
宮部 みゆき／著、文藝春秋
- 3位 『オレたちバブル入組』
池井戸 潤／著、文藝春秋
- 4位 『高校入試』
湊 かなえ／著、角川書店
- 5位 『オレたち花のバブル組』
池井戸 潤／著、文藝春秋

児童書

- 1位 『願いがかなうふしぎな日記』
本田 有明／著、PHP研究所
- 2位 『くりいむパン』
濱野 京子／作、くもん出版
- 2位 『パンダ救出作戦』
(マジック・ツリーハウス 34)
メアリー・ポープ・オズボーン／著、
メディアファクトリー
- 2位 『メガネをかけたら』
くすのき しげのり／作、小学館
- 5位 『ジャコのお菓子な学校』(文研じゅべにーる)
ラッセル・オスファテール／作、
分研出版

図書館に聞いてみよう！



【今月の事例】

郷土の情報が知りたいです。

Q. まつもと城下町湧水群について知りたい。

A.

松本の事象についてであるので郷土の資料で調べたところ、『松本を楽しむ本』(新まつもと物語プロジェクト・林勇次、2010年)『松本さんぽ』(同、2010年)がありました。市街地の中に数多くの湧水があることは珍しく、「平成の名水百選」に選ばれたことや、昔から庶民の暮らしを潤し、親しまれてきたことが分かりました。イラストと共に城下町各所にある湧水の名称と地図が紹介されています。

また、同プロジェクトにより『まつもと水巡り』というエリアごとの詳細な散策マップが作成されており、中央図書館で閲覧できるほか、松本市観光案内所、観光情報センターでもらうことができます。

その他にも『信州百水』(栗田貞多男、2001年)『平成の名水百選』(ぎょうせい、2009年)などの資料でも紹介されております。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

編集後記

朝晩はだいぶ過ごしやすくなり、少しずつ秋の気配も感じられるようになりました。まだ日中は暑い日が続いていますので、体調管理にはお気をつけ下さい。

今月の図書館だよりはいかがでしたか？皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

